

「包容力と力強さを兼ね備えた外交」を更に前に進めるためのODA拡充

外務省ODA予算 4,498億円（対前年度+69億円）

※外務省における予算の柱のうち、ODAに関係する主な項目を抜粋

柱1:人間の安全保障の危機である新型コロナウイルス感染症を克服するとともに、ポスト・コロナを見据えた取組を進める

(1) 新型コロナウイルス感染症の克服

- **二国間支援（新型コロナウイルス感染症の克服）**：途上国における感染症研究拠点の施設整備、検査機材供与、人材育成支援等を通じた検査体制の拡充、空港・港湾等国境施設における検査機材の供与、施設建設などを通じた水際対策の強化等
- **二国間支援（ポスト・コロナに向けた取組）**：途上国の中核医療施設の施設整備や機材供与を通じた診断・治療体制の強化、保健施設整備やアクセス改善、人材育成・技術支援、社会保障等の法制度整備支援等
- **主要な保健関係国際機関を通じた支援**：Gavi、Unitaid、グローバルファンド

(2) ポスト・コロナに向けた取組

柱2:我が国と我が国の安全を守るべく「力強さ」のある外交を推進する

(1) 安保・経済両面での国際秩序の強化等

- **「自由で開かれたインド太平洋」の実現**：海上保安能力強化支援、法制度整備支援、「質の高いインフラ」整備を通じた支援等
- **経済外交の強化**：中小・中堅企業も含めた日本企業の海外展開支援、産業育成・雇用対策に資する産業人材育成支援等

(2) 危機的状況下でも機能する外交・領事実施体制の構築

- **JICAにおける業務継続性の確保及び海外での安全確保**

柱3:国際社会との連携・協力を一層進め、「包容力」のある外交を推進する

(1) 国境を越える課題への対応等

- **SDGsの推進**：女性、教育、保健（UHCを含む）・食糧、防災、水・衛生、海洋環境、生物多様性、気候変動、人道・難民支援、国際協力NGOとの連携強化等

(2) 戦略的対外発信・情報収集の強化

- **外国人材受入れ強化、日系社会との連携**
- **JICA開発大学院連携（途上国の中核人材の育成）**